

このたびの熊本県を中心とする地震により被災された皆様、ならびにそのご家族・関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様、ならびに地域の皆様のご心労はいかばかりかと拝察し、深くお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興を、弊社一同衷心よりお祈り申し上げます。

お陰さまをもちまして設立 30 周年を迎えました

誠にありがとうございます

データ・フォアビジョン株式会社

代表取締役社長

大久保 豊

そのような折ではございますが、平素より当社をお支えいただいております皆さまに、設立 30 周年の節目にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

1996 年 8 月 2 日に産声をあげました当社は、皆々様のご愛顧、お引き立てによりまして、設立 30 周年を迎えることができました。設立時 34 歳であった私は、それまでの人生と同等の長い時間を《社会金融宮大工》を道しるべとして多くの社員とともに働けたこと、そして大変多くのお客様から 30 年にも及ぶ長いお引き立てを頂いていることに、衷心より深く感謝申し上げます。

ゼロであった金利が動き出し、金利がある世界は、もはや遠い未来ではありません。金利が「ある」だけではなく、大いにあり、そして変動する経営環境において、銀行経営は新たな地平に立っています。

長らく続いたゼロ金利時代は、商業銀行の根幹を揺るがしてきました。

資産・負債の原価がゼロとなり、有意なプライシングができず、資産・負債各商品に対する顧客選択も凍てついてしまった時代。銀行経営は長期間にわたり耐え忍ぶ厳しい戦いとなり、この状況は本来あるべき商業銀行業の行動様式を溶解させてきました。

現在進行中のお伊勢さまの式年遷宮は 20 年ごとに 1,000 年以上続いています。伝承できる時間は 20 年が最長であり、それを超えると、有形無形のノウハウや行動様式のたすきが切れてしまう。銀行経営もまた、まさにこの「たすき」をつなぎ直す局面にあると考えます。金利がある。それも大いにあり、変動する。もはや凍結凍土ではない、肥沃なサバンナへと変貌した経営環境において、どう商業銀行を再生させるか。AI の脅威的発展と未曾有の DX 社会を考えると、“待ったなしの大競争時代、に突入しています。

もはや過去の延長線上の **・進歩・** だけでは生き残ることができない。

そう、『ALM 遷宮』 による立て直しが必要なのです。

金利がある世界の【全体最適の ALM】や【スプレッドバンキング】の経験者がいない。たすきが切れてしまっている状況にあるのです。過去の延長線上の進歩だけでは希望がない今において、必要なのは「革新」です。

わたしたちは、

**「AI と人間の革新的協業」こそが
「待ったなしの大競争時代、を切り拓くための《決定的要素》である**

と考えます。

「勝つ」ための《決定的要素》は、「PDCA ループの閉じた組織 AI」によって手にすることができます。

「PDCA ループの閉じた組織 AI」とは、【全資産・全負債の口座動向が記録された DX データ】を一貫性・整合性を持って、時系列に《データレイク》に蓄え、その膨大なデータを AI が自動不断にてパトロールし、多様なモニタリングと情報解析の上、人間が定めるルールのもとで施策案を策定するものです。

人間はその「経営会議資料」の良し悪しを評価し、AI ループの修正と高度化、そして「会議決議による経営行動」を担う。人間は「ループ外（Human-on-the-Loop）」にて AI と協働します。

**金利ゼロの厳寒期においても ALM ソリューションへの継続投資をしていた DFV だからこそできる
『ALM 遷宮』による立て直しにより新次元へジャンプする**

【銀行 OS（オペレーティングシステム）の革新】 ALMighty

地域が大きな困難に直面している今、金融機関の皆さまは、地域のお客様、事業者、住民の皆さまを支える金融インフラとして、ひととき重要な使命を担われています。被災地域における生活と事業の再建、地域経済の復興・復興を支える皆さまのご尽力に、当社は深い敬意を表します。

私たちは、その使命を担う地域金融機関の皆さまに、単なるシステムやツールを提供するものではありません。経営のたすきをつなぎ直し、全資産・全負債を見渡し、金利ある世界における意思決定を強く、速く、しなやかにするための「社会金融宮大工」として、皆さまのそばに立ち続けます。

銀行経営を次元超越させるべく、これからの 30 年、心を新たにして邁進し、「社会金融宮大工」として皆さま方の圧倒的なパートナーとなって参ります。

どうか引き続きのお引き立てとご用命を衷心よりお願い申し上げます。